

(参考) 外国において新型インフルエンザワクチン接種後に
重症又は死亡が報告されている事例

平成 21 年 11 月 27 日

国	企業	情報
米国	CSL、バイオ メディカル、ノ バルティス、 サノフィ	【11月25日疾病対策予防センター(CDC)】11月20日現在、4,600万回分供給。3,182例の副反応があり、重症は177例、ギラン・バレーは10例(調査中)、また、死亡が11例で現在調査中であるが、これまでのところワクチンとの関連性は認められていない。
カナダ	GSK (Q-PAN)	【11月17日サーベイランス週報】11月7日現在、660万回分供給。634例の副反応報告があり、重症例は36例で、うち1例死亡で原因調査中。
スイス	ノバルティ ス、GSK (D-PAN)	【11月21日スイス医薬品局】11月20日現在、169万回分供給。89例の副反応報告があり、重症例は33例。3例の死亡事例が報告され、全例において重大な基礎疾患があり、関連性は認められていない。
中国	Sinovac 等	【11月15日Times】Sinovacを1200万人に接種。これまで1,235例の副反応報告。2例のワクチン接種後の死亡事例が報告されており、1例は高校教師で運動中の心臓発作で接種と関係がないとされており、もう1例は調査中。
オーストラ リア	CSL	【11月20日医薬品行政局】10月29日現在、375万回分供給。654例の副反応報告。6例のアナフィラキシー報告があったが、調査の結果、4例がワクチンと関連性有りとは判断。いずれも適切な治療又は自然回復がなされた。
スウェーデ ン	GSK (D-PAN)	【11月12日(Lakemedelsverket: Medical Products Agency)】11月17日現在340万回分供給。11月15日までに190万回分接種。医療専門家からの副反応報告約1,000件、消費者からの報告約1,300件を受付。ワクチン接種後に死亡した事例が12件報告されているが、これまでの調査のところワクチン接種との関連性は認められていない。(死亡4例目で67歳男性で、19年前に心臓移植を受け、接種から13日後に拒絶反応が生じた事例については現在調査中)
ノルウェー	GSK (D-PAN)	【11月20日ノルウェー医薬品庁】11月13日現在、これまで約122万回分供給。副反応報告は276例で、疑いを含め重症は83例、死亡8例、自然流産・胎児死亡6例。現在までの調査では死亡事例についてワクチンとの関連性は認められていない。

国	承認製品	情報
アイルランド	CSL、 バクスター	【11月26日医薬品委員会】これまで約100万回分供給され、最低でも20万回分接種されたと推定。11月25日現在で、368例の副反応報告、アナフィラキシー3例(疑い含む)有り。Celvapanにおいて接種から10日後の死亡事例が報告されたが、心疾患及びインスリン依存性糖尿病があったことから関連性なしとされた。
英国	GSK(D-PAN) バクスター	【11月19日英国医薬品庁】11月12日現在、全体の接種数は不明だが、合計497例の副反応事例あり。Pandemrixで1例死亡事例があるが、重大な基礎疾患によると考えられる。
オランダ	不明	【11月18日週報】11月18日現在、全体の接種数は不明だが、663例の副反応報告有り。6例の死亡事例があり、うち4例は60歳以上だった。
ハンガリー	不明	【10月20日 Budapest Times】これまで130万回分供給。前の週に64歳女性が接種から2日後に死亡。なお、この女性は検死で新型コロナウイルスの感染が判明し、また、程度は軽いが慢性の心臓疾患を有していた。